

機械系エネルギーコース

熱工学，流体工学を中心とした機械工学とエネルギー関連分野を学修し，ミクロ的及びマクロ的な視点から様々な問題を解決する能力及び新たな課題を自ら設定し取り組むことのできる能力を育成

機械系エネルギーコース教員は機械コースも担当

機械系(修士課程)におけるカリキュラムの比較

エネルギーコース

機械コース

修了単位数

合計30単位以上

合計30単位以上

教養科目群

5単位以上

5単位以上

専門科目群

25単位以上

18単位以上

専門科目

コース専門科目のうち

・コース専門科目(10単位以上)

研究関連科目

- ・エネルギー学理講義群(4単位以上)
 - ・専門学理講義群(所属する系の専門学理講義群から4単位以上)
- 他系の講義群からも履修可

→ 必要単位以外は自由

講究科目

エネルギー講究

S1~S2(修士), S3~S5(博士)
F1~F2(修士), F3~F5(博士)

機械工学講究

S1~S2(修士), S3~S5(博士)
F1~F2(修士), F3~F5(博士)

講究科目の必要単位数は修学期間に依存
(例)2年で修了:8単位
1年半で修了:6単位

(注)履修申告の際には自コースの科目を申告。
(なお基本的に研究室ではコースに依らず一緒に講究を実施)

専門学理講義群

機械系エネルギーコース専門学理講義群と機械コース専門科目には相互の「推奨科目指定」がある

エネルギーコース修士課程コース専門科目専門学理講義群(学修案内)

(例)

エネルギー
コース

ENR.K440	ふく射輸送学 (Advanced course of radiation transfer)	1-0-0	英語開講
ENR.K430	乱流制御論 (Advanced course of turbulent flow and control)	1-0-0	英語開講

機械コース修士課程コース専門科目(学修案内)

(例)

機械コース

ENR.K430	乱流制御論 (Advanced course of turbulent flow and control)	1-0-0	英語開講
ENR.K440	ふく射輸送学 (Advanced course of radiation transfer)	1-0-0	英語開講



機械系における修士論文研究関連行事の比較

エネルギーコース

機械コース

修士論文研究中間発表：機械コースと共同で実施

エネルギーコースでは4Qに
系をまたがるポスター発表会（＋交流会）を実施
◎エネルギー協創プロジェクト（修士）
◎エネルギー学理実践研究A（博士）

修士論文研究発表：各コースごとに実施（2018年度）

審査員に他系の教員を1名含む
⇒専門的な視点の審査＋
多面的な視点から審査

基本的に審査は近い分野の教員
⇒専門性の高い審査

【機械系 機械コース(修士課程)】

	科目区分	必修科目単位	選択科目単位
教養科目群	5単位以上修得すること。		
	文系教養科目		400番台科目から2単位以上 500番台科目から1単位以上
	キャリア科目		2単位以上
	その他科目		
	コース標準学習課程の専門科目群から18単位以上修得すること。		
専門科目群	講究科目	「機械工学講究S1」, 「同F1」, 「同S2」, 「同F2」を各2単位 計8単位	
	研究関連科目		10単位以上
	専門科目		
	(コース標準学習課程以外の専門科目又は研究関連科目)		
	修了単位合計	30単位以上修得すること。	

【機械系 エネルギーコース(修士課程)】

	科目区分	必修科目単位	選択科目単位
教養科目群	5単位以上修得すること。		
	文系教養科目		400番台科目から2単位以上 500番台科目から1単位以上
	キャリア科目		2単位以上
	その他科目		
専門科目群	コース標準学習課程の専門科目群から25単位以上修得すること。		
	講究科目	「エネルギー講究S1」, 「同F1」, 「同S2」, 「同F2」を各2単位 計8単位	
	研究関連科目		
	専門科目		・エネルギー学理講義群から4単位以上かつ ・学生が所属する系の専門学理講義群の科目から4単位以上 ただし、化学系の学生は、化学系専門学理講義群(*)から4単位以上、融合理工学系の学生は、エネルギーコースが推奨する系の専門学理講義群の科目から4単位以上
	(コース標準学習課程以外の専門科目又は研究関連科目)		
修了単位合計	30単位以上修得すること。		